

ソフトテニスコース

3つのポリシー

卒業認定の方針(ディプロマ・ポリシー)

ソフトテニスコースは、ソフトテニスという競技を通じ豊かな人間性を育み、学生一人一人が自ら自己実現のために積極的に行動ができる力をつけ、将来、ソフトテニス・スポーツ界だけでなく、幅広く社会で活躍できる人材の育成を目指します。そのため、以下の資質・能力を身につけた者に卒業を認めます。

1. 競技を通じ、挨拶やマナー、礼儀を身につける。
2. 感受性を高め、他者を思いやる気持ちや感謝の気持ちを持ち、行動が出来る「人間力」を身につける。
3. コミュニケーション能力を高め、状況に応じたコミュニケーションを取る事ができ、人間関係を円滑にできる力を身につける。
4. ソフトテニスの技術だけにとどまらず、スポーツ全般の知識、練習方法や指導方法を身につけ、将来ソフトテニスの発展、普及に努める事ができる力を身につける。(チーム戦もあり、ダブルス、シングルスもあり、様々な経験を積む事ができる。団体戦ではチーム力、協調性が身につき、ダブルスではペアとのコミュニケーション、シングルスでは自分自身と向き合う事の大切さなど、勝つためには自分自身を含むコート上の4人、ないし2人の心理状況を考え自分が何をしなければならないのかを考える事が重要であり、私生活に置き換えると相手の立場に立ち物事を考え、思いやりを持った行動ができる事と置き換える事ができる)

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

ソフトテニス・スポーツの知識を深め、技術向上と指導スキルの習得を目指します。その過程において、実践的な授業や活動を通し、コミュニケーション能力、協調性、人間力を高め、社会で即戦力として活躍するための能力を身につける事に努めます。

1. ソフトテニス実技を通じ、協調性、コミュニケーション能力の向上を図り、基本的な社会性を身につける。
2. 日本スポーツ協会の指導者養成科目に基づき、スポーツ指導者に共通して求められる資質能力(思考と判断、態度、知識と技能)の習得のための科目の設置。
3. ソフトテニスにおける、より専門的な知識と技能を身につけるため、専門科目を設置し、ソフトテニスの指導資格の取得を目指す。
4. 2年生からはソフトテニス専攻、競技×医療、競技×スポーツトレーナー、英語×スポーツ、希望する履修カリキュラムの目標に合わせた科目の設置。
5. 現場実習の実施、実際の大会運営やスクール現場実習を実施、資格取得のための知識と能力を身につけると同時に卒業後に待ち受ける社会に触れる機会を設ける

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

ソフトテニスコースが目標とする人材を育成するため、本校の教育内容に高い関心と理解があり、以下の素質を備えた入学者を受け入れます。

1. ソフトテニスという競技を愛し、自身の技術向上、競技発展のために、尽力できる者。
2. 高等教育までの基礎学力及び、主体的に学ぶ態度を有する者。
3. ソフトテニスに関する基礎体力を有する者。
4. ソフトテニスに関する基礎知識を有する者。
5. 主体的に学び、自ら課題を発見し探求しようとする意欲を有する者。
6. 社会性、対人関係能力、コミュニケーション能力を有する者。